

令和5年度 杉並区立宮前中学校 教育調査結果をうけて自己評価

令和5年度教育調査のアンケート結果をもとに、以下の通り自己評価を策定いたしました。

令和5年度は杉並区教育委員会から直接メールにて Forms 回答依頼をした結果、保護者からの回答率が昨年度よりも低下しました。(令和4年度：回答 236/家庭数 316=74.7%、令和5年度：回答 172/家庭数 309=57.9%) また、生徒用の調査については令和4年度と同様の質問項目で実施し、学校独自で調査回答を得たものになります。

生徒回答(令和4年度と同様の質問内容:令和6年1月下旬に生徒用タブレットから回答)

令和5年度 宮前中学校 杉並区教育調査集計結果		肯定率	
質問内容		令和5年度	令和4年度
生徒	先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	87.2%	88.1%
	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	64.9%	55.2%
	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	48.3%	49.6%
	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	50.4%	43.7%
	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	84.3%	86.9%
	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	85.1%	83.3%
	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	70.2%	71.4%
	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	92.1%	95.6%
	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	78.5%	80.2%
	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たちと共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	81.8%	82.9%
	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	75.2%	78.6%
	地域の行事に参加している。	50.4%	25.0%
先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	71.9%	54.8%	

*黄色は令和4年度よりも低値の項目、青色は令和4年度よりも高値の項目

令和4年度と比較して、ほとんどの項目について大きな変化はありませんでした。肯定率が大きく向上した質問内容は「学習を進める方法やペースを自分で決めながら学んでいる」「地域行事に参加している」「地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている」の3点でした。

学習方法やペースについて、生徒の主体的な取り組みを尊重する方針で指導にあたっています。また、令和5年度はコロナ禍収束に伴い、「宮前スマイル広場」や「職場体験」等、地域行事や地域との連携教育を再始動することができました。今後も地域とのつながりを大切にした教育活動を推進します。

保護者回答(12月から1月上旬に保護者端末から回答)

令和5年度 宮前中学校 杉並区教育調査集計結果 肯定率		宮前中		杉並区平均	
質問内容		肯定率	回答不能率	肯定率	回答不能率
通常学級保護者	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	54.7%	7.0%	54.7%	3.8%
	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	61.6%	5.2%	65.5%	3.6%
	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	53.5%	11.0%	49.7%	8.7%
	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	44.2%	7.0%	46.5%	5.4%
	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている	37.8%	11.0%	40.6%	9.4%
	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	65.7%	4.1%	64.7%	2.4%
	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	39.5%	11.0%	34.0%	8.8%
	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	50.6%	9.9%	43.2%	8.8%
	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	61.6%	2.3%	62.8%	1.7%
	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	77.3%	1.7%	79.0%	1.0%
	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわかり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができる	39.5%	7.6%	43.9%	6.3%
	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	38.4%	5.2%	35.0%	11.0%
	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	56.4%	9.9%	27.8%	20.8%
子どもは、学校生活を楽しんでいる	70.8%	3.5%	68.4%	2.3%	
特別支援学級保護者	子どもは、障害の状態や特性及び心身の発達段階等に応じた目標の設定や手だてにより自立と社会参加の可能性が広がっている	60.0%	0.0%	66.7%	2.6%
	子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている	71.4%	0.0%	62.2%	5.4%
	子どもは、地域の行事に参加している	44.4%	0.0%	28.9%	2.6%
	学校は、特別支援教育の現状や上級学校又は社会人の生活など、障害者に関する様々な情報を、保護者会や個人面談、進路説明会などの機会をとらえて提供している	27.8%	0.0%	42.0%	7.3%

*黄色は区平均値よりも低値の項目、青色は区平均よりも高値の項目

質問内容が昨年度と変更になったため、経年変化の比較はできませんが全体的な肯定率については令和4年度と同程度の結果となっています。

宮前中学校は特別支援学級設置校であるため、「通常学級と特別支援学級の相互交流機会について」の肯定率が顕著に高くなっています。体育祭や合唱祭だけでなく、日頃からあたりまえのように交流する状態を今後も継続します。また、特別支援学級保護者の方からは「地域行事への参加」について区平均よりも高い肯定率をいただいています。これは地域行事である「宮前スマイル広場」に劇を披露する形で参加している事を肯定的にとらえていただいているものと考えられます。

一方、昨年度から引き続き「アンケート等のオンライン化、学校からの情報提供」についての肯定率が区平均と比較してやや低値でした。今後もICTを活用した情報発信に注力していきます。令和6年度は学校からのメール配信「すぐメール」が廃止となり、新たなメール・出欠連絡ツール「tetoru」をご利用いただくための準備を整えています。

学校運営協議会 委員回答(12月から1月上旬に委員端末から回答)

令和5年度 宮前中学校 杉並区教育調査集計結果		肯定率	
質問内容		令和5年度	区平均
学校運営協議会 委員	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている	100.0%	76.3%
	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている	100.0%	79.4%
	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている	75.0%	77.9%
	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	75.0%	76.3%
	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている	100.0%	75.6%
	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	87.5%	49.6%
	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している	100.0%	88.5%
	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員（学校関係者を含む）と話し合ったりしている	100.0%	80.8%

*黄色は区平均値よりも低値の項目、青色は区平均よりも高値の項目

学校運営協議会委員からの回答については委員8名の方からご回答をいただき、回収率100%でした。

宮前中学校学校運営協議会は毎月土曜授業日に開催し、学校運営の改善についての情報交換を行い、頂いたご意見を学校運営に反映できるように調整しています。そのため、十分な情報共有と相互理解が得られているため、全体に高い肯定率となっています。

唯一、区平均値に到達できていない「学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している」についても75%と高値の肯定率となっている。コロナ禍後の学校運営において家庭、地域、企業等との連携について今後一層重視していく必要があると捉えています。

一方、区平均を大きく上回っている「学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている」については、令和2年度より本校に設置している不登校グリーゾーン生徒の居場所づくりとして運営してきた「カンファレンスルーム」の運営についての理解を得られているためと考えられます。

教員回答(12月から1月上旬に教員端末から回答)

令和5年度 宮前中学校 杉並区教育調査集計結果		肯定率	
	質問内容	宮前中	杉並区平均
教員	授業では、普段の生活のことや社会での問題・話題になっていることを材料に学べるようにしている	80.0%	75.8
	授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている	60.0%	49.0
	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている	60.0%	51.3
	授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組めるようにしている	86.7%	77.5
	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている	40.0%	43.0
	授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている	86.7%	69.5
	授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている	80.0%	78.5
	授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている	86.7%	77.8
	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確かめながら決められるようにしている	80.0%	72.8
	学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている	80.0%	63.9
	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している	53.3%	59.9
	児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	53.3%	56.3
	連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	40.0%	53.5
	教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている	86.7%	66.6
	子どもと向き合う時間が確保できている	53.3%	45.4
	タイムマネジメントを意識して勤務できている	53.3%	49.3
	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる	53.3%	41.7
	誇りややりがいをもって仕事を行うことができている	93.3%	69.5
	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている	46.7%	36.1
	スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている	60.0%	75.5
児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	86.7%	69.2	
学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている	46.7%	43.0	
授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできるようにしている	80.0%	61.6	

*黄色は区平均値よりも低値の項目、青色は区平均よりも高値の項目

宮前中教員の回答は全体的に区平均を上回る結果となりました。連携する小学校との小中一貫教育について、小中合同研修等の機会をより効果的に活用していきます。